

様
病名 発作性心房細動・心房細動 症状

入院病日経過 月 日	入院(治療2日前)	入院2日目(治療前日)	治療当日	治療後1日目	治療後2日目	退院日
目標	心筋焼灼術について理解ができる		不安や痛みを表出し安静を守る事ができる	合併症が起きず日常生活の知識を身につけ退院できる		
指導・説明	<ul style="list-style-type: none"> 治療当日までに主治医より説明があります。(ご家族と一緒に) 病棟看護師より説明があります。 《準備するもの》 T字帯 1枚、ストロー又は横飲み 希望時、栄養士より食事指導が受けられます。 麻酔科医師の訪問があります。 集中治療室の看護師より説明があります。 <p>特別な栄養管理の必要性 (有)・無</p>		<p>《治療前》</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝、採血をします。 治療前1食は禁食、治療後1食はおにぎりになります。 禁食時の薬は少量の水で飲んで下さい。 (感染防止の為に、抗生物質の内服が開始となります) 禁食時は医師の指示で糖尿病薬とインスリン注射が止まります。 集中治療室1泊入室の準備をしてください。 冠血管拡張剤テープを腕に貼ります。 血圧、脈拍、体温を測定します。 点滴を開始し、尿管を入れます。 <p>《治療後》</p> <ul style="list-style-type: none"> 集中治療室に向かいます。 血圧、脈拍、体温を測定し、心電図検査を行います。 帰宅後3時間は絶対安静、その後は朝までベット上安静です。出血を防ぐためにとても大切です。 血栓予防の点滴を開始する場合があります。 医師より治療結果の説明があります。 <p>(ご家族と一緒に)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中治療室から病棟に戻ります。 40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の日常生活や再診日について看護師から説明があります。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 塩分やカロリーが制限された食事になります。 経食道心エコー検査のため、昼食は禁止です。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限食が続きます。 				
点滴注射 内服薬	<ul style="list-style-type: none"> 内服薬やインスリン注射、お薬手帳を持参し看護師に渡して下さい。 医師の指示により中止になる薬もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴の針を入れ当日に備えます。 医師の指示で、内服薬の調整が行われることもあります。 薬剤師より内服薬の説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 1階の血管造影室へベッドで行きます。 治療中・治療後の安静中に胸部症状がありましたらすぐに知らせて下さい。 			
検査活動 処置	<ul style="list-style-type: none"> 心電図の機械を付けます。 心臓CT撮影を行います。 経食道心エコー検査を行います。 血圧・脈拍・体温・体重測定を行います。 入浴は可能です。 原則、病院内を自由に歩けます。 弾性ストッキングのサイズを合わせます。 	<ul style="list-style-type: none"> 穿刺部の消毒をし、絆創膏に貼り変えます。 穿刺部の絆創膏をはがします。 心電図の機械を取り、病院内を自由に歩くことができます。 入浴が可能になります。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> 眠れない時は申し出て下さい。 胸部症状がありましたら看護師に伝えて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 概算は退院前日にお知らせします。(※場合によっては概算ができないことがあります。) 退院当日に外来棟1階⑤お支払(退院精算)で精算して下さい。(休診日の場合は入院棟1階、28番救急外来受付になります。) ※場合によっては後日清算となることがあります。 				

(主治医) _____ 印

(主治医署名) _____

※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者 (看護師) _____
(薬剤師) _____
(栄養士) _____